

科目名	English for Careers I	前期	2 単位
サブタイトル	ホスピタリティ・マネジメント	演習	
担当者	後藤 真弓		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] ホスピタリティやサービス関連産業に関する知識を身につけ理解を深めることにより、幅広い視野を養い、今後のキャリア形成に役立てる。 [授業概要] 【伊丹空港でのJ-AIR、JALスカイ大阪両社の見学と、客室乗務員やグランドスタッフの職務体験が含まれます】 この授業では、エアラインや飲食業などにおけるホスピタリティの実践例を通じて、サービスとの違いや、形だけではないホスピタリティを実践するうえで大切となる「心」について学ぶことを目的とする。 また、受講生間のディスカッションや発表を通じて社会におけるホスピタリティの役割、重要性を理解し、これからの時代のホスピタリティのあり方を考える。 現在も日本航空の客室乗務員として乗務し、人財育成経験も有する講師が、現場での経験・最新の情報を織り交ぜながら講義を行う。 また、4月下旬から5月のいずれかの土曜日に、伊丹空港において空港見学、客室乗務員の業務とグランドスタッフの業務を体験するフィールドワークを実施する。 なお、受講受け入れ数は30名として、31名を超える場合は抽選とする ※初回授業で抽選を行うため、受講希望者は必ず初回授業に出席すること [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回復習を行い、学んだ内容を日常生活で実際に活かすこと。課題は必ず提出(または授業内で発表)すること。 [授業計画] - オリエンテーション - ホスピタリティとは(ホスピタリティ、サービス、おもてなしの概念) - エアラインのホスピタリティ(航空業界の基礎知識、サービスの構成要素) 5. 伊丹空港でのフィールドワーク(4月下旬～5月のいずれかの土曜日に実施予定) - フィールドワークの振り返り・グランドスタッフ、客室乗務員の業務 - 飲食業におけるホスピタリティ①(グループワーク) - 飲食業におけるホスピタリティ②(グループ発表・講義) - ホスピタリティとコミュニケーション① - ホスピタリティとコミュニケーション② - ホスピタリティ リーダーシップと安全 - キャリアについて(ホスピタリティ) - まとめ、これまでの振り返り			

科目名	English for Careers I	前期	2 単位
サブタイトル	ホスピタリティ・マネジメント	演習	
担当者	後藤 真弓		
[成績評価方法] 試験 (40%)、グループワークならびに発表 (30%) 毎週の振り返りシート、授業中の取り組み(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時間内で全般的なフィードバックを実施するとともに、内容に応じ適宜manabaを通じてフィードバックを行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)] 学科DP番号／DP内容: 英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する 学科DP番号／DP内容: 英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する 学科DP番号／DP内容: 英米3-1 ／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する 学科DP番号／DP内容: 英語3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよびグループワークなどにより評価する。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業での発表 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的、文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業での活動、課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 課題、試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業での活動、発表、課題 [教科書 (ISBN)] [参考書 (ISBN)]			